

懇談会開催日:令和6年8月19日(月)

地区:二見

要望・意見内容	市長回答
平成12年度以降、宇治山田港湾海岸堤防の改修工事が実施されているが、堤防は1,700m以上が未完で、まだ30年から40年かかる状況。さらに予算をつけて、堤防工事を促進してほしい。	東日本大震災以降、早期に港湾改修をしてほしいとの声がある。ハード整備は非常に大事。国・県の予算をいかに獲得するか。国等へ伝えていきたい。
活気に溢れていた二見町も空き家が増え、人口減少している。また、旅館や土産物屋等も減少している。音無山の急傾斜地もあるなかで、どのような将来性を考えているか。	・地域との役割分担や得意分野のすみ分けが必要である。 ・二見は駐車場からそぞろ歩きをするというコンセプトがある。どのようにして知ってもらうか。情報発信のあり方を考える必要がある。
・二見サマーフェアを7月24日に実施してもらい盛況だった。8月28日にもう1回やってもらい、秋にも別個の企画を用意してもらっており、力を入れていただいていることに大変感謝している。 ・旅館や飲食店、賓日館の会も若手がいらない。お雛様めぐりのイベントも20年続いてきたが、高齢化で来年が最後になる可能性が高い。 ・賓日館は来年が改修工事前の見学可能な最後の年。VRを撮影してもらい、10月1日から公開すると聞いており、ありがたいと思っている。しかし、改修工事の6年間の予定はもう少し伸びるだろう。その間どのようにして賓日館が改修工事に入る。忘れられないようにPRしていくかが大きな課題だと思う。 ・生涯学習センターと老人福祉センターが令和10年に一つの施設に統合されると、その跡地をどのように使っていくのか。空き家のようになってしまうと寂しい状態になるので力を入れていただきたいと思う。 ・興玉神社前の海岸駐車場が20数台しか駐車できない。常に満車の状況で、休日にはものすごく渋滞する。さらに注力してほしい。	今後の検討としたい。
民生委員協力員制度が12月から実施されるが、なり手はいるのか。	民生委員協力員制度は、次の担い手を見据えて作ったもの。協力員でどこまでできるのか、今年1年かけて勉強しながら、一緒により良いものにしていきたい。
すべての問題の根底に少子高齢化がある。今年の小学校の新生児は29名。まち協として、どのように考えていけば良いか。	一昨年、朝熊山麓公園にユニバーサルデザインの公園整備を行った。コロナ禍もあり、人と出会わない4年間があった。子育ての印象を良くするためには、子ども達の笑顔が見える場が必要であり、そのような環境を作っていくことが大切。あとはコミュニケーション。顔の見える化、人間関係を築いていくことが大事だと思う。また、高齢者の方は、祭りや会式等、楽しみがないと物事に関心を持ってもらえない。一緒になって頑張っていきたい。
先程、自転車で堤防を走れるようにしたいとの話があったが、路面は自転車で走れないぐらいガタガタの状態。コンクリが随分風化している。一部決壊しているようなところもある。	現地確認に行きたいと思う。

要望・意見内容	市長回答
<p>・二見浦駅は観光地の無人駅。観光協会の案内所も離れており、お客様が不便をしている。また、バリアフリーの対応ができていない。市の計画のなかで、二見は積極的に取り組む地区には入っていないと思う。ぜひ、バリアフリー化のための予算を付けてほしい。</p> <p>・鳥羽駅が無人化された際、高性能の自動券売機も入ったが、二見に関しては一切何もない。ぜひとも、観光客の利便性を図っていただきたい。</p>	<p>JRに対して粘り強く交渉していきたい。</p>
<p>御塩浜等のスポットに車で行きにくい。駐車場も案内も、ほぼない状況。コアなスポットの案内ができるようにしてほしい。</p>	<p>神宮との絡みもある。考えていきたい。</p>
<p>もう少し市内に観光バスの乗り場や乗降場所を作ってもらえると、地域の活性化に繋がるためお願いしたい。</p>	<p>駅前通りについては課題もあり、丁寧に検討する必要がある。参考にさせてもらいたい。</p>
<p>JR(二見浦駅)のICカード化をお願いしたい。</p>	<p>JRに対して言い続けていきたいと思う。</p>
<p>松下地区は地区全部が急傾斜地のため避難所を設置できない。地区外の大江寺が避難所となっているが、津波の際に本当に行けるのかという問題がある。何とか急傾斜地を避けるようなかたちで避難場所が確保できないか。</p>	<p>宿題として預らせていただきたい。急傾斜地においてどこまでできるか、勉強させていただきたい。</p>
<p>自治会活動に対する市職員の参加について。とにかく担い手不足。元市職員等にもさらに協力いただければと思う。</p>	<p>すべて副業が認められるものではないが、スポーツ少年団等の地域活動で地域に貢献するものを認めるというのもひとつかもしれない。</p>
<p>ひきこもり対策について。年々サポート体制も充実し、ありがたいと思っている。しかし、三重県では推定2万人のひきこもりの方がみえると聞いた。働きたい気持ちがあっても、家の外に出なければ支援を受け入れられない。まずは、在宅での仕事からスタートするような支援があっても良いのではないかと思う。</p> <p>コロナ禍により在宅勤務が進んだ。多くの家庭にパソコンがある環境であるため、在宅で行える仕事も多くなっていると思う。</p> <p>不登校の子供たちも急増しているなかで、ひきこもりの人達の数も増えていくと思う。今後、ひきこもり対策がますます重要になると思うのでよろしくをお願いしたい。</p>	<p>市として一生懸命に取り組んできた。支援が必要な方々も、人によって様々であり、そのためのステップも違う。検討していきたい。</p>
<p>小学校が1つになったが、まちづくり協議会は2つある。やはり二見として1つにしなければならぬのではないかとの意見がある。市長からは以前、地域の皆さんで話し合っただけで決めてほしいとのことであったが、行政からも説明してもらえないか。</p>	<p>2つのものを1つにするには時間が必要。何か共同事業をする等、実験的に実施するのも良いかもしれない。</p>